

地域再生計画（港整備交付金）事後評価調書

都道府県名	愛媛県	事業実施主体	愛媛県、今治市、上島町	地域再生計画名	急潮今治・上島「うみのまち」再生計画～港の連携・皆との交流～
計画期間	平成21年度～平成25年度	評価責任者	今治市企画財政部長 胡井裕志、上島町産業建設部長 村上和志		

	指標	基準値 基準年度	中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価			
			年度	中間実績	基準年度	最終実績					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	水産品消費の増加による地元産業の安定（飲食店等での魚消費者数の増加）	30,400人	H21			31,920人	H26	36,044人	○	高齢化する利用者に対して安全安心な港湾・漁港施設を提供することにより、出漁回数の増加による陸揚量の増加、鮮度を保った海産物等の提供による商品価値の向上など水産物を用いた地場産業の活性化に貢献し目標を達成できた。
	指標 2	交流人口の増加（港の連携による観光入込客数の増加）	85,100人	H21			89,355人	H26	166,142人	○	港湾・漁港施設の整備および安芸灘諸島連絡架橋の供用等により、交通ネットワークの向上と瀬戸内の景観・歴史・農水産物といった多彩な観光資源の活用により観光客数が増加した。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (H )	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	港湾施設整備事業	地方港湾 岡村港 大下港 小漕港 (係留施設)		地方港湾 岡村港 大下港 小漕港 (係留施設)	老朽化の著しい港湾施設の補修および予防処置を講じることで、施設機能の充実と施設の延命を図ることができた。引き続き適切な施設の維持管理を実施する。
	漁港施設整備事業	第一種漁港 友浦漁港 (外郭施設)		第一種漁港 友浦漁港 (外郭施設)	防波堤を整備し港内静穏度を確保することで、高齢化する利用者が安心して利用できる環境を提供するとともに漁港としての機能向上を図ることができた。
その他の事業	安芸灘諸島連絡架橋	上蒲刈島と豊島を結ぶ豊島大橋の供用開始			岡村島と広島県呉市を橋で連絡することにより自動車等による往来が可能となり、本州との交流が期待される。
	県道大下白濁線改良事業	島内を循環する一般県道の拡幅改良整備			利便性の向上と緊急車両等の大型車両の円滑な通行を可能とし、地域住民の生活環境向上が図られる。
	上島架橋	佐島と生名島を結ぶ生名橋の供用開始			弓削島、佐島、生名島の自動車による往来が可能となり、陸・海交通の両方の利用が促進されることによる地域交流が期待される。
	漁協祭り	水産物の地産地消活動			今治市の大きなイベントとして根付いており、水産物の地産地消活動に取り組んでいる。水産品の消費増加にむけ引き続きイベントを実施していく。
計画外で独自に実施した事業					

④評価方法 今治市社会資本総合整備計画等評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。

⑤事後評価の公表方法 今治市企画課および上島町のホームページに掲載

⑥計画全体の総合評価 港湾・漁港施設を整備することによる島しょ部に欠かすことのできない施設機能の保全ならびにその他事業と連携することによる地域の交流促進を図り、瀬戸内の景観・歴史・農水産物といった多彩な観光資源を活用することにより今治・上島圏域における観光客のにぎわいが生まれた。また飲食店等での魚の地産地消を促し、地域の活性につながっていると考えられる。

⑦今後の方針等 本地域再生計画において、地域にとって欠かすことのできない海上ネットワークの機能を保持することができた。今後も適切な施設の維持管理をおこない、安全安心な施設を提供することにより地域の交流促進を図っていきたい。